



耳 寄 り 情 報 百 科

令和 4 年
5 月 号



中南地域県民局地域農林水産部 農業普及振興室
弘前市蔵主町4 電話：0172-33-2902
FAX：0172-34-4390

黒石分室
黒石市田中 82-9 電話：0172-52-4335
FAX：0172-53-4114

HP http://pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ch-nosui/w_sy.html



新年度にあたって

新型コロナウイルス感染症も発生から2年以上経過しました。この間、研修会や講習会を含めたイベントの中止、各組織の総会や会議等も中止や書面開催となるなど、生産者の皆様と直接会って話す機会もかなり少なくなったと思っております。

最近になって、ワクチン接種の拡大やコロナウイルス対策の徹底により、研修会や講習会等も開催されるようになりました。普及振興室としては、積極的に生産者、関係機関・団体の皆様と情報交換を進め、労働力不足への対応や担い手の育成、高品質な農産物の生産等により、地域農業振興を図っていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

農業普及振興室長 前田 亨



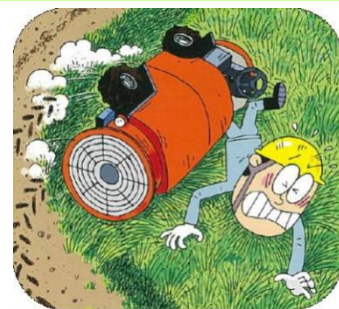
ストップ 農作業事故！ ～春の農作業安全運動展開中～

県では、農業機械操作による事故を防止するため、4月1日から5月31日まで「春の農作業安全運動」を展開しています。

農作業が本格化する春は、事故が起こりやすくなります。当管内で昨年発生した農作業事故はりんご園を主体に7件で、薬剤散布が始まって間もないこの時期は、スピードスプレーヤによる事故が発生しています。

農作業には常に危険性が伴うことを認識し、『焦らず、急がず、慎重に！』を心がけ、安全第一に作業を行いましょ。う。

また、農作業中の熱中症による死亡事故が全国的に増えていますので、気象情報に留意して熱中症の予防にも努めましょ。う。



担当：果樹・花き班
今村主幹専門員

令和4年度の重点的な取組についてお知らせします

中南型産直モデルの確立と産地間の連携強化による 地産地消の推進

産直施設が抱える課題を解決し、地産地消の推進による地域の活性化を目的とした今年度2年目となる取組です。

今年度は、農産物を産直施設に持ち込めない会員に代わり、運送業者が集荷して複数の産直施設へ配送することで、品揃えの充実を図るモデル実証のほか、スタンプラリーやコミュニティFMによる産直レポートにより産直施設の認知度向上を図ります。

また、産直関係者による高齢者支援、新規会員等の確保、品揃え対策等の先進産直施設の現地調査などの取組も実施します。



担当：企画班
岸主幹専門員

需要に応える「青天の霹靂」の生産と新品種の普及拡大

「青天の霹靂」は、青森県産のブランド米として実需・消費者から高い評価を得ており、その需要に見合った供給量の確保と高品質生産が求められています。令和3年産は高い出荷基準達成率となりましたが、未達成事例も見られることから、全量出荷基準達成を目指し、中南地域「青天の霹靂」生産指導プロジェクトチームで連携して生産指導を行っていきます。

また、令和5年度から作付が予定されている新品種「はれわたり」は、本格デビューに向けて現地特性の詳細把握と生産者への周知を図っていきます。



「青天の霹靂」追肥講習会

担当：稲作・畑作・野菜班
若本主幹

中南地域の果樹経営に適した特産果樹の生産拡大

中南地域では、近年、特産果樹を取り入れた果樹複合経営が進んでいます。特に消費者からのニーズが高い「シャインマスカット」やももの栽培面積が増加しているほか、青森県がブランド化を進めている「ジュノハート」の生産も年々増加しています。

当農業普及振興室では、これらの特産果樹が高品質安定生産されるように関係機関・団体と連携して、病虫害防除や適切な栽培管理を行うための講習会や現地巡回等を行い、生産者の方々を支援していきます。

担当：果樹・花き班
今村主幹専門



「シャインマスカット」栽培講習会



「ジュノハート」の着果状況

多様な農業・地域活動にチャレンジする女性農業者の育成

地域資源を活用した加工品づくりや体験交流、農家民宿などの起業活動に取り組む農村女性の活躍は、農家の所得向上と食文化の伝承などの地域づくりにも貢献しています。

また、平成 29 年度から取り組んでいる「農のふれカフェ」は、調理体験や食事提供をする活動として若手農業者の関心も高くなっています。

当農業普及振興室では、研修会や個別相談等を通して、経営発展や地域共生社会の実現に向けて活動する女性起業家を支援するとともに、起業活動に関心のある女性農業者の育成にも取り組んでいきます。



コンビニエンスストアと連携した出張販売



漁家レストランの運営と地域活動について研修

担当：経営・担い手班
白取主幹

＝お知らせ＝

農薬は適正に使用しましょう！

6月1日から8月31日は、「青森県農薬危害防止運動」の実施期間です。

農薬は正しく使うとともに、適切に管理しましょう。

- ① 農薬の使用前は必ずラベルを確認し、使用後には記録しましょう。
- ② 散布器具はこまめに点検し、使用後は十分に洗浄しましょう。
- ③ 農薬は施錠して保管しましょう。
- ④ 使用の際は、周辺に農薬を飛散させないようにしましょう。
- ⑤ 住宅地や学校の周辺で農薬を使用する場合は、
事前に幅広く周知しましょう。
- ⑥ 水田で使用した農薬が河川に流れ出るのを防ぎましょう。
- ⑦ 健康管理に注意し、農薬中毒などの事故を防ぎましょう。



担当：果樹・花き班
藤田技師

4Hクラブ（農業青年クラブ）に入って活動しませんか！

地域の将来を支える 20 代から 30 代前半の若手農業者にとって、4Hクラブは何でも気軽に相談できる仲間づくりの場として重要な役割を担ってきました。

中南地域では弘前、黒石に4Hクラブがあり、生産技術を検討するプロジェクト活動や農産物即売会、地域貢献活動などを通じて知識と技術の向上に励むとともに、仲間の輪を広げています。

当農業普及振興室ではこの事務局を担っていますが、男女を問わず、随時、新規クラブ員を募集しています。

お近くに農家の「わけもの」がいましたら、ぜひとも、御紹介をお願いします。



行事について検討する役員

担当：経営・担い手班
黒石分室
遠間主幹
浅利主幹